

研究名： 蘇生後に発症した中枢性尿崩症の自然歴の検討

1．研究の目的

中枢性尿崩症は脳下垂体から分泌されるバソプレシンというホルモンが足りなくなり、尿量が増加する疾患です。原因はさまざまで、心停止に伴う脳の低酸素による障害もその一つです。この場合、心停止発生からどのような経過を辿り発症するかは明らかでないことが多く、これを明らかにすることで、より早く適切に対応することが可能になります。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2014年4月～2024年3月までに当院で心停止後に中枢性尿崩症と診断された方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年3月31日

研究方法：診療録を用いた後方視的研究

3．研究に用いる情報の種類

蘇生後に中枢性尿崩症と診断された方のカルテ番号を検索し、その方の診療録から、病歴・身体所見・経過・検査所見（血液検査・尿検査・脳波・頭部CT・頭部MRIやその他の画像検査）等の情報を調べます。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学术论文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年9月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部 内分泌・代謝科 内木康博

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181

研究責任者：

国立成育医療研究センター 内分泌・代謝科 本間丈博